

執筆者紹介

きとう けいいち
佐藤 慶一 本学ネットワーク情報学部教授

Gill Main Social Research Collective

〈編集後記〉

2024年1月1日に発生した石川県能登半島地震から1年が経ちましたが、ライフラインの復旧の遅れや避難生活の長期化の問題だけではなく、災害関連死が2016年の熊本地震のそれを超えたことも報道されています。このような日本の状況とよく対比されるのが、イタリアの被災者支援対策です。本号に掲載した「イタリア災害対応に関する現地調査（2024年8月）と資料整理の記録」は、イタリアにおける災害対策や被災者支援が形作られてきた過程を知ることができる内容となっています。

本号のもう一つの論考が“Using participatory research to generate ‘bottom-up’ change: a case study of participatory research into poverty in the UK”です。UKにおける貧困をめぐる先行研究の現状と問題点を整理し、貧困をめぐる研究に参加型アプローチを組み込んでいく必要性を提言しています。貧困問題は克服すべき課題の一つであり、この分野での参加型アプローチの展開が期待されます。

このほかに定例研究会報告とシンポジウム報告も取り上げました。

(K)

2024年10月20日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 大矢根 淳

製作 株式会社グラフィカ・ウエマツ

新宿区下落合4-21-19 目白LKビル3F 電話 (03)6915-3835
